



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月11日

上場取引所 東

上場会社名 大倉工業株式会社

コード番号 4221 URL <http://www.okr-ind.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高浜 和則

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役常務取締役コーポレートセンター担当兼経理部長 (氏名) 豊田 員史

TEL 0877-56-1111

四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	44,705	5.4	1,338	39.6	1,188	15.7	665	△7.7
25年12月期第2四半期	42,412	6.2	958	2.1	1,027	19.4	720	23.8

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 508百万円 (△69.7%) 25年12月期第2四半期 1,680百万円 (182.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	11.14	—
25年12月期第2四半期	11.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第2四半期	89,699	36,517	40.7
25年12月期	90,730	36,459	40.2

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 36,517百万円 25年12月期 36,459百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	7.50	7.50
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	93,500	3.1	2,600	29.3	2,300	14.4	2,100	30.8	35.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期2Q	62,074,351 株	25年12月期	62,074,351 株
26年12月期2Q	2,403,883 株	25年12月期	2,394,054 株
26年12月期2Q	59,674,804 株	25年12月期2Q	60,062,129 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う需要の変動はあったものの、企業収益の改善、設備投資の増加、雇用・所得環境改善に伴う個人消費の緩やかな持ち直しなどにより、景気は基調としては引き続き緩やかな回復局面にあります。

一方で、当社グループを取り巻く事業環境は、特に売上高の6割弱を占める合成樹脂事業において、原材料価格上昇分の価格転嫁が難航するなどの厳しい状況が続いてまいりました。

このような状況の下、当社グループは、製品価格の修正や細やかな拡販、固定費の削減に努めた結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は447億5百万円（前年同四半期比5.4%増）、営業利益は13億3千8百万円（前年同四半期比39.6%増）、経常利益は11億8千8百万円（前年同四半期比15.7%増）となりました。四半期純利益は税務上の繰越欠損金の解消に伴う法人税の増加などにより6億6千5百万円（前年同四半期比7.7%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

〔合成樹脂事業〕

前連結会計年度に前倒し需要が発生した農業向けマルチフィルムや原材料価格上昇により製品構成を見直さざるをえなくなった産業資材用及び汎用包装向けフィルムを中心に販売数量が減少しましたが、製品価格修正効果により、売上高は252億6百万円（前年同四半期比0.5%増）となりました。しかし、価格修正が本格化したのは当第2四半期連結会計期間であったこと、電力料をはじめその他変動費の上昇分までをも修正することは叶わなかったことから、営業利益は12億3千6百万円（前年同四半期比18.6%減）となりました。

〔新規材料事業〕

スマートフォンやタブレット端末向け光学フィルムの販売数量が好調に推移いたしました。

この結果、売上高は128億9百万円（前年同四半期比8.6%増）、営業利益は7億6千万円（前年同四半期比77.9%増）となりました。

〔建材事業〕

前年6月のパーティクルボードJIS認証再取得以降、同製品の販売数量が順調に回復してきたため、売上高は38億5千4百万円（前年同四半期比35.6%増）となりました。営業損失は固定費の削減などに努めたこともあり3千7百万円（前年同四半期比3億2千2百万円改善）となりました。

〔その他〕

木材加工（プレカット）事業及び情報処理システム開発事業が順調に売上を伸ばしたため、売上高は28億3千5百万円（前年同四半期比5.3%増）となりました。しかし、宅地造成及び建物建築事業が労務費や建築資材上昇の影響を受けたため、営業利益は1億8千4百万円（前年同四半期比0.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ10億3千1百万円減少し896億9千9百万円となりました。その主な内訳は、受取手形及び売掛金など流動資産の減少20億2千7百万円及び有形固定資産など固定資産の増加9億9千5百万円によるものであります。

一方、負債につきましては、1年内返済予定の長期借入金など流動負債の増加38億1千3百万円、長期借入金など固定負債の減少49億3百万円により、前連結会計年度末に比べ10億8千9百万円減少し531億8千1百万円となりました。

また、純資産は、利益剰余金の増加2億1千7百万円などにより、前連結会計年度末に比べ5千7百万円増加し、365億1千7百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて0.5ポイント上昇し、40.7%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ7億9百万円減少し、71億2千8百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により増加した資金は13億4千9百万円（前年同四半期は12億8千8百万円の増加）となりました。

主な内容は減価償却費18億4千2百万円、売上債権の減少額10億9千9百万円、税金等調整前四半期純利益9億8千8百万円による資金の増加と、仕入債務の減少額24億5千7百万円による資金の減少であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は30億1百万円（前年同四半期は21億1千9百万円の減少）となりました。

これは主に合成樹脂事業及び新規材料事業における工場及び製造設備などの有形固定資産の取得によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果増加した資金は9億5千5百万円（前年同四半期は4億1千2百万円の増加）となりました。

主な内容は長期借入れによる収入16億円、短期借入金純増加額13億8千万円による資金の増加と、長期借入金の返済による支出12億2千7百万円による資金の減少であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年2月14日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,838	7,128
受取手形及び売掛金	27,093	25,993
商品及び製品	4,563	4,973
仕掛品	934	920
原材料及び貯蔵品	3,250	3,148
販売用不動産	260	191
繰延税金資産	315	169
その他	988	692
貸倒引当金	△6	△7
流動資産合計	45,238	43,210
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,514	17,108
機械装置及び運搬具（純額）	8,420	8,305
土地	6,619	6,619
建設仮勘定	4,231	5,031
その他（純額）	606	566
有形固定資産合計	36,392	37,632
無形固定資産	205	205
投資その他の資産		
投資有価証券	7,342	7,189
繰延税金資産	72	69
その他	1,505	1,424
貸倒引当金	△27	△34
投資その他の資産合計	8,893	8,650
固定資産合計	45,492	46,488
資産合計	90,730	89,699

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,793	17,336
短期借入金	8,400	9,780
1年内返済予定の長期借入金	2,552	7,434
リース債務	708	718
未払法人税等	96	122
設備関係支払手形	168	68
その他	7,471	7,544
流動負債合計	39,190	43,004
固定負債		
長期借入金	9,454	4,944
リース債務	1,312	955
繰延税金負債	601	583
退職給付引当金	2,626	2,626
その他	1,085	1,067
固定負債合計	15,080	10,177
負債合計	54,270	53,181
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,619	8,619
資本剰余金	9,068	9,068
利益剰余金	17,463	17,680
自己株式	△817	△820
株主資本合計	34,333	34,548
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,823	1,699
為替換算調整勘定	302	270
その他の包括利益累計額合計	2,126	1,969
純資産合計	36,459	36,517
負債純資産合計	90,730	89,699

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	42,412	44,705
売上原価	37,105	38,834
売上総利益	5,306	5,871
販売費及び一般管理費		
販売手数料	53	57
運送費及び保管費	1,209	1,317
給料	1,022	1,033
賞与	182	225
役員報酬	149	150
退職給付費用	77	73
役員退職慰労引当金繰入額	9	—
減価償却費	63	52
研究開発費	538	521
貸倒引当金繰入額	△0	8
その他	1,041	1,092
販売費及び一般管理費合計	4,348	4,532
営業利益	958	1,338
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	58	58
為替差益	128	—
雑収入	76	70
営業外収益合計	265	130
営業外費用		
支払利息	175	162
債権売却損	5	—
為替差損	—	26
持分法による投資損失	—	75
雑損失	15	15
営業外費用合計	196	280
経常利益	1,027	1,188
特別利益		
固定資産売却益	0	2
投資有価証券売却益	6	—
特別利益合計	6	2
特別損失		
固定資産除売却損	42	203
建物等除却損失引当金繰入額	13	—
特別損失合計	56	203
税金等調整前四半期純利益	978	988
法人税、住民税及び事業税	103	161
法人税等調整額	154	161
法人税等合計	258	323
少数株主損益調整前四半期純利益	720	665
四半期純利益	720	665

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	720	665
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	960	△124
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△31
その他の包括利益合計	960	△156
四半期包括利益	1,680	508
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,680	508
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	978	988
減価償却費	2,056	1,842
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△13	8
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2	△0
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△297	—
建物等除却損失引当金の増減額(△は減少)	△2	—
受取利息及び受取配当金	△60	△60
支払利息	175	162
為替差損益(△は益)	△81	19
持分法による投資損益(△は益)	—	75
投資有価証券売却損益(△は益)	△6	—
固定資産除売却損益(△は益)	33	173
売上債権の増減額(△は増加)	△1,098	1,099
たな卸資産の増減額(△は増加)	△146	△224
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△238	299
仕入債務の増減額(△は減少)	489	△2,457
未払消費税等の増減額(△は減少)	△29	84
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△290	△384
その他	168	△16
小計	1,638	1,610
利息及び配当金の受取額	60	60
利息の支払額	△180	△168
法人税等の支払額	△229	△153
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,288	1,349
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,115	△2,981
有形固定資産の売却による収入	8	5
補助金の受入による収入	—	40
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
投資有価証券の売却による収入	11	—
貸付けによる支出	—	△40
貸付金の回収による収入	3	2
その他	△23	△25
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,119	△3,001
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,565	1,380
長期借入れによる収入	895	1,600
長期借入金の返済による支出	△1,292	△1,227
リース債務の返済による支出	△334	△350
自己株式の取得による支出	△62	△3
配当金の支払額	△358	△442
財務活動によるキャッシュ・フロー	412	955
現金及び現金同等物に係る換算差額	62	△13
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△355	△709
現金及び現金同等物の期首残高	7,403	7,838
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,047	7,128

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	合成樹脂 事業	新規材料 事業	建材事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	25,080	11,798	2,842	39,721	2,691	42,412	—	42,412
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	—	—	1	259	261	△261	—
計	25,081	11,798	2,842	39,722	2,951	42,674	△261	42,412
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,520	427	△359	1,587	185	1,772	△814	958

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル事業、木材加工事業、宅地造成及び建物建築事業、情報処理システム開発事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△814百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△813百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	合成樹脂 事業	新規材料 事業	建材事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	25,206	12,809	3,854	41,870	2,835	44,705	—	44,705
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	—	—	2	263	266	△266	—
計	25,208	12,809	3,854	41,873	3,098	44,972	△266	44,705
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,236	760	△37	1,959	184	2,144	△805	1,338

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル事業、木材加工事業、宅地造成及び建物建築事業、情報処理システム開発事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△805百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△806百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。